

## 果樹の生育状況と当面の技術対策

## I 生育状況

3月からの気温が平年よりかなり高かったため、生育は大幅に進んでいる。

## 1 りんご

「ふじ」の開花日は、三戸町梅内で平年より14日早かった。

表1 りんご「ふじ」の生育ステージ

調査地点	年	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
三戸町 梅内	本年	3/23	4/ 2	4/21		
	平年	4/ 6	4/16	5/5	5/10	5/15
	前年	4/ 6	4/12	4/27	5/ 5	5/10
	平年差	-14	-14	-14		
八戸市 櫛引	本年	3/23	4/ 4			
	平年	4/ 7	4/19	5/ 7	5/12	5/17
	前年	4/ 5	4/12	4/27	5/ 3	5/ 8
	平年差	-15	-15			

※平年値：2001～2020年の20年間平均

## 2 おうとう

「佐藤錦」の開花日は、南部町高瀬で平年より9日、八戸市南郷で13日早かった。

表2 おうとう「佐藤錦」の生育ステージ

調査地点	年	催芽日	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
南部町 高瀬	本年	3/24	4/ 7		4/17	4/20	
	平年	4/ 1	4/18	4/28	4/26	4/29	5/10
	前年	4/ 2	4/13	4/27	4/22	4/24	5/ 6
	平年差	-8	-11		-9	-9	
八戸市 南郷大森	本年	3/24	4/ 6		4/19		
	平年	4/ 3	4/23	5/ 2	5/ 2	5/ 4	5/14
	前年	4/ 3	4/13	4/24	4/24	4/25	5/ 7
	平年差	-10	-17		-13		

※平年値：南部町高瀬 2013～2022年の10年間平均、八戸市南郷 2003～2022年の20年間平均

### 3 もも

「川中島白桃」の満開日は、八戸市櫛引で平年より 15 日早かった。

表3 もも「川中島白桃」の生育ステージ

調査地点	年	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
八戸市 櫛引	本年	4/10	4/20	4/18	4/19	
	平年	4/15	5/ 1	5/ 1	5/ 4	5/13
	前年	4/11	4/23	4/23	4/26	5/ 7
	平年差	-5	-11	-13	-15	

※平年値：2003～2022 年の 20 年間平均

### 4 西洋なし

「ゼネラル・レクラーク」の開花日は、南部町大向で平年より 13 日早かった。

表4 西洋なし「ゼネラル・レクラーク」の生育ステージ

調査地点	年	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
南部町 大向	本年	3/28	4/14	4/20		
	平年	4/ 7	4/27	5/ 3	5/ 5	5/11
	前年	4/ 7	4/22	4/26	4/27	5/ 4
	平年差	-10	-13	-13		

※平年値：2003～2022 年の 20 年間平均

### 5 すもも

「大石早生」の落花日は、三戸町梅内で平年より 17 日早かった。

表5 すもも「大石早生」の生育ステージ

調査地点	年	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
三戸町 梅内	本年	3/21	4/10	4/10	4/11	4/17
	平年	3/31	4/24	4/25	4/27	5/ 4
	前年	3/31	4/21	4/20	4/21	4/28
	平年差	-10	-14	-15	-16	-17

※平年値：2003～2022 年の 20 年間平均

### 6 うめ

「豊後」の落花日は、南部町高瀬で平年より 15 日早かった。

表6 うめ「豊後」の生育ステージ

調査地点	年	発芽日	開花日	満開日	落花日
南部町 高瀬	本年	3/10	4/ 4	4/ 6	4/12
	平年	3/21	4/16	4/20	4/27
	前年	3/21	4/12	4/13	4/22
	平年差	-11	-12	-14	-15

※平年値：2008～2022 年の 15 年間平均

## 7 ぶどう

露地栽培「キャンベル・アーリー」の発芽日は、南部町沖田面で4月19日であった。  
ハウス栽培「キャンベル・アーリー」の展葉日は、三戸町梅内で平年より3日早かった。

表7 ぶどうの生育ステージ

調査地点	品種	年	催芽日	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
南部町 沖田面	キャンベル・ アーリー (露地)	本年	4/ 7	4/19				
		平年	4/16	4/25	5/ 7	6/13	6/16	6/20
		前年	4/11	4/21	4/30	6/ 6	6/11	6/14
		平年差	-9	-6				

※令和5年度から担当農家変更。平年・前年平年差は参考値

調査地点	品種	年	催芽日	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
三戸町 梅内	キャンベル・ アーリー (ハウス)	本年	3/30	4/ 3	4/12			
		平年	3/29	4/ 5	4/15	5/14	5/17	5/21
		前年	3/28	4/ 5	4/18	5/12	5/14	5/19
		平年差	+1	-2	-3			

※平年値：2003～2022年の20年間平均

※キャンベル・アーリー（ハウス）のビニール被覆：3/16（平年：3/17、前年3/23）

## II 当面の技術対策

仙台管区気象台の1か月予報（4月20日発表）では、平均気温は低い確率が50%となっている。

今後の管理作業に当たっては、生育ステージが大幅に進んでいることから、樹種ごとに自園地の生育状況を確認して適期に実施し、特に薬剤散布は遅れないようにする。

### 1 霜害防止対策（各樹種共通）

本年は生育が大幅に早まっているため、霜害を受ける危険性が例年より高い。各樹種とも低温に弱い生育ステージに入っているため、気象情報に注意し、降霜のおそれのある場合は、防霜ファンや燃焼法による対策を行う。

なお、燃焼法を実施する場合は、事前に所轄の消防署に届出が必要である。

### 2 りんご

#### (1) 薬剤散布

「ふじの開花直前（2回目）」の薬剤散布は、三戸町梅内、八戸市櫛引とも4月22日前後を目安とする。「ふじの落花20日後頃」までの間は10日間隔での散布を遵守し、基準量を散布ムラがないように丁寧に散布する。なお、散布予定日に降雨が見込まれる場合は、事前散布に徹する。

## (2) 結実確保

近年、人工授粉の未実施により、カラマツ（不受精花）や形の悪い果実がみられるため、結実確保と良品生産に向けて訪花昆虫の導入や人工授粉を行う。開花期の不順天候で訪花昆虫の活動が鈍い場合は、積極的に人工授粉を行う。

## (3) 腐らん病対策

昨年、一昨年とも腐らん病の発生が多かったため、見つけ次第、適切に処分する。枝腐らんは切り取って処分し、胴腐らんは削り取って有効薬剤を塗布するか泥巻きを行う。

## (4) 黒星病対策

「ふじの展葉1週間後頃」～「落花20日後頃」は、黒星病の重点防除時期なので、散布間隔と散布量を守る。被害葉や被害果は見つけ次第、摘み取って土中に埋めるなどして処分する。

## 3 おうとう

生育が早まっており、すでに開花しているものもあるので、適期を逃さないように授粉する。

人工授粉の回数は多い方がよく、少なくとも5分咲き～満開頃に2回以上実施する。特に昨年のように、霜害を受けた場合や開花期が低温の場合は、結実確保のため、できるだけ回数多く行う。

## 4 もも

せん孔細菌病対策として、春型枝病斑の切除を徹底する。春型枝病斑は4月から見え始め、開花以降も発生が続くので、定期的に園地を見回り、見つけ次第切除し、園地から持ち出して適切に処分する。特に、発芽や展葉の遅れている枝、幼果が枯れ込んでいる枝等に注意し、見逃さないようにする。



せん孔細菌病の春型枝病斑

## 5 西洋なし

結実確保のため、訪花昆虫の導入や人工授粉を行う。

輪紋病対策として、伝染源になる枝幹部のいぼ病斑は、胞子の飛散が始まる5月下旬までに削り取って、塗布剤を塗布する。

## 6 すもも

黒斑病の発生が多い園地では、伝染源となる春型枝病斑を見つけ次第、切り取って処

分する。

#### 7 うめ

果実が小指大の大きさの時期（満開 20～25 日後頃）に、収穫期に果実が肥大しても互いに触れ合わない程度の間隔に摘果する。

#### 8 ぶどう

養分の競合や新梢の過繁茂を防ぐため、摘芽や摘梢を行う。樹勢に応じて 2～3 回に分けて行い、花穂の発育の良い中庸な新梢を残す。なお、霜害のおそれのある場所では、晩霜がなくなってから最終本数を決める。